

# 日本化学連合設立時の背景・必要性

- 1 化学研究連絡委員会報告「化学者からのメッセージ」提言9 学協会の統合へ向かって一步を  
第18期日本学術会議化学研究連絡委員会、2003年6月24日
- 2 (財)化学技術戦略推進機構(現(公財)新化学技術推進協会JACI)  
提言「産から学へのメッセージ」 2005年6月

化学をとりまく内外の環境の変化、  
化学者コミュニティの地殻変動など、  
多くの課題が顕在化している

欧米諸国では化学系学会が一本化され  
ているところが多い。学協会が林立  
する我が国の体制は国際対応を遅延  
させ、国際連携の障害となっている

化学者コミュニティの発言力増強と  
コミュニティ内の連携強化による  
新しい化学のビジョン構築と情報発信

関係省庁や総合科学  
技術会議などへの政策  
提言機能の強化が学  
協会に求められている

具体例として、  
① 1つ又は少数の母体に  
集約する  
② 個々の独立性を重視し  
つつ、強固な連合組織化を  
する

多くの学協会が林立する現状で  
は、運営資源が分散され期待の  
実現が困難であり、事業構造の  
変革が必要である

日本の国力に見合った発言  
力と国際貢献が求めら  
れている